

◆ご検討の観点と内容の特色◆

数学Ⅲ Standard/2 東書・数Ⅲ702

項目	観点	内容の特色
内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> * 学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 * 基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか。 * 発展的な学習内容の取り扱いに対する適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な事項がコンパクトに網羅されている。また、例・例題と問のギャップをなくし、スムーズに授業が展開できるように工夫して編集されている。 ● 本文の問の末尾に節末問題と章末問題へのリンクマークが付され、追加問題が扱いやすくなるように工夫されている。 ● 「1章 関数と極限」無限等比数列では、$r>1$, $r=1$, $0<r<1$, $r=0$, $-1<r<0$, $r=-1$, $r<-1$のすべての場合の極限を調べ、グラフも添えて視覚的にも分かりやすく工夫されている。(p. 31～32) $x \rightarrow -\infty$のときの関数の極限値を求める例題4(2)では、$x = -t$と置き換えて求める方法を示して、負の無限大の極限の取り扱い方に慣れさせるように工夫されている。(p. 51) ● 「2章 微分」合成関数の微分法では、関数$f(x)$のn乗の微分の例8が扱われている。(p. 78) ● 「3章 微分の応用」方程式・不等式への応用では、不等式への微分の応用の例題2と方程式の実数解の個数を調べる例題3を扱い、微分法が有効に用いられること的一端を示すように工夫されている。(p. 123～124) ● 「4章 積分とその応用」の置換積分法や部分積分法では、公式の適用を分かりやすくするために、例7や例9の側注において、同じ色アミで解答と公式との対応を示すように工夫されている。(p. 147, 150) ● 課題学習は、学習内容と実生活との関連が十分に図られており、生徒の興味・関心を高める数学的活動を重視した課題が扱われている。 ● 「発展的な学習内容」には「発展」マークが付けられ、本文と明確に区別されている。
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> * 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 * 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 * 中高の接続に対する配慮がなされているか。 * 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領に示された「内容」と「内容の取扱い」に準拠していて、生徒の実態に即した必要かつ十分な内容が適切に組織・配列されている。 ● 考察→例・例題→問→節末問題→章末問題の順に、段階を追って一定レベルの問題が過不足なく取り上げられており、その分量も適切である。 ● 章のはじめに既習事項を活用しながら章の学習のきっかけとなる探究活動ができるコーナーがあり、関連した既習の内容を振り返りつつ新たな課題に対して興味や関心を高めて取り組むことができよう工夫がされている。 ● 巻末には、「数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで学んだ基本事項」として、これまで学んだ学習内容がコンパクトにまとめられている。 ● 難易度の高い例題は、「チャレンジ」として掲載され、学習進度に合わせて扱えるように配慮されている。

項目	観点	内容の特色
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 * 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 * 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 * 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全編を通して本文の理解を助けるように、イラスト、写真、図が適切に用いられている。 ● 必要に応じて色を使い、視覚的な内容理解ができるよう配慮されている。 ● 用語・記号は統一されており、記述の仕方も適切である。 ● 節末問題に教科書本文の対応ページが付されており、振り返り学習ができるように工夫されている。 ● 教科書を支援する指導書や周辺教材などが充実しており、指導しやすい教科書である。 ● ICT 機器を利用すると効果的な箇所に D マークコンテンツが用意されており、生徒が柔軟に学習を進めることができるように配慮されている。
印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 * 環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活字はユニバーサルデザインで美しく、写真、挿し絵も鮮明で効果的である。 ● 製本は堅牢で、開きやすい様式である。 ● 図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっており、全ページにわたって配色を工夫するなど、だれも見やすい紙面になっている。 ● 本文の用紙には再生紙と植物油インキを使用し、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング設定工場」で印刷するなど、地球環境や資源に及ぼす影響も考慮されている。
総合所見	<ul style="list-style-type: none"> * 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科目標達成に必要な学習事項・定番問題がコンパクトに網羅されていること、学習内容を表す小見出しを多用した内容のまとまりのよさ、具体例からの導入、内容理解を高めるための図解・色を使った説明など、生徒および指導者にとって効率的に学習効果があげられるように編集された教科書である。また、数学の楽しさが体感できるようにも工夫されている。

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。